

## 研究の名称

病棟内歩行が自立している脳卒中患者の退院先に影響を及ぼす因子の検討

### 1. 研究の対象

2021年1月～2025年11月までに当院回復期リハビリテーション病棟を退院した脳卒中患者のうち、退院時の歩行FIMが自立している者の中で4-4に示す基本情報およびFIMの評価が困難であった者、入院前居住地が施設であった者、急変のため転院もしくは回復期病棟以外の病棟に転科した者を除外した290名程度。

### 2. 研究目的・方法

#### 2-1. 研究目的

回復期リハビリテーション病棟の役割として自宅復帰が挙げられている。自宅復帰において、歩行能力やADLが大きく関与することはこれまでに多く報告されており、回復期リハビリテーション病棟に入院した脳卒中患者が在宅復帰に至るためにはADLの向上が求められ、年齢や認知症がその影響因子として加わるとも報告されている<sup>1)</sup>。

臨床現場では歩行可能であるにもかかわらず、自宅退院が困難となる症例を経験することが少なくない。脳損傷例のリハビリテーションにおいて、高次脳機能障害の存在はADLの多様な側面を阻害することが知られており<sup>2)</sup>、これらの症例では高次脳機能障害を含む認知機能低下が在宅復帰の阻害因子として影響を及ぼしている可能性が考えられる。在宅復帰を目標とする回復期リハビリテーション病棟において、高次脳機能および認知機能の障害による自宅退院を不可能とする因子の検討は必要不可欠と考える。

脳卒中患者を対象としてFIMを用いた在宅復帰に関連する因子を調査した先行研究は数多く存在し、自宅退院が可能であったケースにおいては退院時の運動項目合計得点および認知項目合計得点が有意に高値であることが報告されている。しかし、退院時のFIM運動項目が高値であっても高次脳機能および認知機能障害が退院先に及ぼす影響を検討した報告は少ない。そこで、本研究では歩行FIMが自立している脳卒中患者が自宅退院不可能となった要因を調査することを目的とする。

1) 渡邊進:回復期リハビリテーション病棟の現況と課題. Jpn J Rehabil Med  
46:799-807, 2009

2) 網本和, 杉本諭, 小松みゆき, 佐々木誠, 牧田光代, 三好邦達:高次脳機能障害が歩行自立に及ぼす影響. 理学療法学第17巻第4号:353-358, 1990

## 2-2. 研究方法

### ◇研究のデザイン

当院回復期リハビリテーション病棟を退院した脳卒中患者の基本情報、FIM、神経心理学的検査結果を電子カルテから抽出し後方視的に調査を行う。

### ◇統計解析の方法

- ①自宅退院できた自宅群・できなかった非自宅群の2群に分け、4-4に記載する評価項目について群間比較する。
- ②自宅群・非自宅群を従属変数、①で有意差があった項目を独立変数とした二項ロジスティック回帰分析を実施する。

### ◇研究期間

研究開始時期 承認日

研究終了時期 承認日より6ヶ月

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

以下の項目を電子カルテから調査します。対象者に新たに評価は行いません。

基本情報（年齢、性別、疾患名、居住先、転帰先、退院日、同居者）

FIM (Functional Independence Measure 以下FIM)

- ・退院時運動FIM(食事、整容、清拭、更衣(上半身)、更衣(下半身)、トイレ動作、排尿管理、排便管理、ベッド・椅子・車椅子移乗、トイレ移乗、浴槽・シャワー移乗、歩行、階段)
- ・退院時認知FIM(理解、表出、社会的交流、問題解決、記憶)

※各項目の点数と合計点数を評価

高次脳機能

- ・Mini-Mental State Examination (認知機能検査)
- ・Trail Making Test PartA (注意機能検査)
- ・Trail Making Test PartB (注意機能検査)
- ・Frontal Assessment Battery (前頭葉機能検査)
- ・SLTA (失語症検査)

※高次脳機能評価の有無について上記評価をもとにカルテより抽出

\*全ての評価項目は入院中に記録された結果を後方視的に電子カルテから抽出する。

## 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

医療法人社団主体会小山田記念温泉病院

リハビリテーションセンター 理学療法士 大西優衣香

〒512-1111

三重県四日市市山田町 5538-1

Tel 059-328-1260

Fax 059-328-3040

研究責任者：大西 優衣香